

目 次

1. 本システムについて	2
2. 本システムの提供ファイル	3
3. リッチクライアント開発入門	
3-1 APG 機能を使ったリッチクライアントプログラムの作成	4
3-2 オンラインプログラムからリッチクライアントプログラムへの変換	7
4. リッチクライアントプログラムの特徴および注意事項	
(1) フォームはすべて Magic で作成	13
(2) 色・フォントファイルはそのまま、キー割付も有効	13
(3) クライアント側に専用ソフトは不要	13
(4) 印刷は PDF や ReportsMagic	14
(5) バッチタスクはそのまま	14
(6) RM 互換(レコードメイン互換)タスクは不可	14
(7) ファントムタスクは不可	14
(8) バッチタスクからリッチクライアントタスクはコール不可	15
(9) 遅延トランザクションモードを使用	15
(10) 使用できない関数がある	16
(11) 使用できない機能がある	16
(12) オンラインタスクと動きが違う部分がある	17
(13) オンラインタスクのようなレコードロックの概念はない	18
(14) パフォーマンスに関する注意点	18
5. リッチクライアント準備ユーティリティ	19
6. リッチクライアントへの移行手順	20
7. テクニック集	
(1) PDF 出力の方法	21
(2) ReportsMagic 出力の方法	22
(3) 伝票データの連続入力	23
(4) 画面の拡張機能	23
(5) エクセル風/左項目固定画面	24
(6) ファイルのダウンロード	25
(7) メール送信	26
(8) グラフ表示	27
8. 見積伝票入力の概要	30
9. 受注伝票入力の概要	31
10. 売上傳票入力の概要	32
11. 入金伝票入力の概要	33
12. 請求処理のフロー	34
13. 売掛処理のフロー	36
付録(モデル一覧・テーブル一覧・プログラム一覧)	37
付録(Mobile 用プログラムについて)	45

第1章 本システムについて

本システムは、Magic xpa 3.2 開発者向けのリッチクライアント教材(サンプルプログラム)として作成いたしました。より業務に近く、より実用的な素材として販売管理システムの一通りの機能を備えております。この教材が、今後の皆様の開発にお役に立つことができれば幸いです。

いくら Magic で開発をしたとしても、個人によって開発手法の差はありますし、同じ機能を実現するにも開発手法は一つではありません。いくつかのやり方があります。本システムはあくまでも一つのサンプルとして捉えて下さい。

なお本プログラムは、プログラムの読みやすさ・分かりやすさに重点を置いているため、細部に渡るエラー処理は組み込んでおりません。パッケージ製品のようにそのまま稼働させて利用することを目的としたアプリケーションではありませんので、実際のシステムを開発される時には、細部においてもエラー処理を考慮する必要があります。本システムの趣旨をご理解の上、その点をどうかご了承下さいますようお願い申し上げます。

第2章 本システムの提供ファイル

本システムで提供されているファイルを、フォルダーごとに紹介します。

フォルダー名	ファイル名	内 容
C:\¥WitRC32	WitRC32.edp WitRC32.ecf	本システムのプロジェクトファイル 本システムのキャビネットファイル
C:\¥WitRC32¥DAT	*.DAT のファイル	データファイル一式
C:\¥WitRC32¥ENV	act_rnt_wit.jp clr_rnt_wit.jp fnt_rnt_wit.jp	キーボード割付ファイル 色定義ファイル フォント定義ファイル
C:\¥WitRC32¥Exports	(空)	
C:\¥WitRC32¥MAS	*_M. DAT のファイル	マスタファイル一式
C:\¥WitRC32¥PDF	(空)	PDF ファイルを出力するフォルダー
C:\¥WitRC32¥RM	*.rfr のファイル RM*. * のファイル WIT.PNG	ReportsMagic 用フォーム 4 種類 ReportsMagic 用ビューワー (実行モジュール) 弊社ロゴファイル
C:\¥WitRC32¥Source	*.xml のファイル	プログラム等のソースファイル一式

その他にドキュメントとして、「インストールガイド」「操作ガイド」「開発者ガイド(本書)」があります。